

あなたにめぐりあえて
よかった

町合同金婚式

3月21日、町合同金婚式が改善センターで開催され、町内の102組204名が参加されました。

この町合同金婚式は、昭和4年から昭和28年までに婚姻届けを出した192組が対象で苦難多き時代の半世紀を共に健やかに過ごしてこられた方々をお祝いし、今後の末永い幸せを祈念するため今回初めておこなわれたものです。

式では記念写真や芸能発表、またケーキカットのセレモニー等がおこなわれ、山口町長が「本日はおめでとうございます。今後も楽しみながら健康に過ごしてください。」とお祝いの言葉を述べました。金婚者代表の脇榮一さんは「本日はありがとうございます。結婚50年はあつという間に過ぎたような気がします。夫婦の強いきずなで、ここまでやってこられました。今後もほどほどに仲良くしながらがんばっていききたい。」と感

謝の言葉を述べられました。



▶ケーキ入刀の模様

河川愛護優良団体

知事表彰に岩元自治公民館

2月5日、宮之城土木事務所で平成14年度河川愛護優良団体表彰伝達式があり、岩元自治公民館が知事表彰を受けました。

これは、毎年地区内を流れる六川及び南川の河川敷を清掃作業によりきれいにしてきた岩元自治公民館の功績が認められたものです。表彰式には池山正満館長が出席。梶尾信弘宮之城土木事務所長から

賞状が手渡されました。

◀岩元自治公民館長の池山さん（左）と梶尾所長



さようなら 永野幼稚園・中津川幼稚園で廃園式

3月19日、永野幼稚園と中津川幼稚園の廃園式がおこなわれ31年間の歴史に幕を閉じました。

町内の各幼稚園は、昭和47年4月、各小学校に併設の幼稚園として開園しました。

開園当時は園児数も多く、教室も小学校の教室を利用していたため昭和53年には中津川幼稚園、昭和57年には永野幼稚園を新築しました。その後、少子化及び過疎化が急速に進行し入園者も減少、一昨年は中津川幼稚園が1年間休園するなど幼稚園教育が難しい状態となっていました。

4月からは、3園を統合してさつま幼稚園と改称した旧求名幼稚園で新しく14名の園児でスタートしました。また永野及び中津川校区の園児は、通園バスでさつま幼稚園に通うこととなっています。



▲中津川幼稚園 最後の園児となった井上紗希ちゃん（写真左）、村原雅ちゃん、川幡先生

たちで進めることがどれほど大変なのか学びながら、最後の体育大会を楽しみました。体育大会が終わると文化祭の準備が始まりました。本番に間に合うのかとあせったり、直前にハプニングが起こったりしておもしろかったです。文化祭が終わると、いよいよ入試が近づいてきました。遅かったと思います。でも、私立入試を終えて得た結果が公立に向けての自信になりました。まだどうなるかわからない自分の道への不安は、みんな持っています。けれど、三年間みんなと過ごし、様々なことを学んできたことで、私たちは一人で自分の道を進む力を身に付けられたと思います。友達だけが私たちを支えてくれたわけではありません。家族や先生方、地域の方々、いつも温かく見守ってください。本当にありがとうございます。多くの人に支えられて過ごし、多くのものを得た三年間を大切にしたい、これからの未来に生かしていきたいです。